

# 『特別支援教育リーフ』シリーズ

特別支援教育について学ぶ機会がなかなか得られなかった先生へ  
初めて特別支援学級や通級による指導を担当する先生へ

リーフの  
ページは  
こちらから



各シリーズのコンセプト

Basic (基礎編) →



特別支援教育の経験の浅い先生が、特別支援教育を構成する基本的な事柄を理解する契機とします。

Case Studies (事例編) →



通常の学級に在籍する児童生徒に見られる、障害に起因することが気付かれにくい(先生が気付きにくい)状態について理解し、その改善のための具体的な支援を考えていく一助とします。

Advance (発展編) →



学習上・生活上の困難さがある児童生徒が、より充実した学校生活を送ることができるよう、実際の授業や指導・支援で活用できる取組や知っておくと良い情報を紹介、提案します。

Vol.	シリーズ	タイトル	内容	二次元コード
1		ここからはじめてみよう、特別支援学級	子供にとって、いいなと思える特別支援学級にしていまいませんか？子供一人一人に合った学びの方法がないか、色々取り組んでみることを皮切りに、特別支援学級の担任として知っておきたいことなどを紹介しています。	
2		障害のある子供も共に楽しむ体育の授業	運動が好きになる体育の授業づくりをしてみませんか？「アダプテッド・スポーツ」の視点による体育の授業づくりや生涯にわたる豊かなスポーツライフを目指してなどを紹介しています。	
3		学習や生活を豊かにするICT	ICTを使って子供の学習や生活が豊かになるように工夫してみませんか？困難さのある子供たちへの生活や学習、コミュニケーションを支えるための活用の仕方、授業本来の目的に向かう余裕を作る活用などについて紹介しています。	
4		多様性の理解につながる「障害理解」	すべての子供が「ちがいを認め「よさ」に気付けるようになることを目指してみませんか？「障害理解」や「ちがいを認め「よさ」に気付くために必要なこと、子供たちに必要な資質・能力について紹介しています。	
5		このように考えよう、合理的配慮	子供の本来の力を引き出すために「合理的配慮」を考えてみませんか？子供たちの困りごとに思いを巡らすことを皮切りに、子供の困りごとに対する合理的配慮の提供のプロセスや留意点などを紹介しています。	
6		活用してみよう、「センター的機能」	特別支援学校「センター的機能」を活用して、日々の指導を振り返ってみませんか？障害のある子供の指導・支援等に困った時の対応や協働して課題解決するために必要なことなどを紹介しています。	
7		みんなの思いをことばにしよう！つなげよう！～個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成と活用～	個別の教育支援計画と個別の指導計画を活用して、みんなの思いをことばにしてつなげていまいませんか？個別の教育支援計画と個別の指導計画の特徴やそれぞれの大切にポイントなどを紹介しています。	

8		聞こえにくさのある子供の理解と支援	話の内容を理解できていないように見えたり、指示通りに動けなかったりする子供はいませんか？子供の聞こえの状態を想像することや聞こえにくさがあるのでは？と思ったらどうしたらよいかについて紹介しています。	
9		感情をコントロールすることが苦手な子供の理解と支援	感情のコントロールが苦手かな？と思う子供はいませんか？感情のコントロールが苦手な子供の背景となる要因を整理するための視点や具体例、子供への声かけや連携などについて紹介しています。	
10		人前で話すことが苦手な子供の理解と支援	人前で話すことが苦手な子供はいませんか？人前で話すことが苦手な原因や様々なコミュニケーション手段を選べるようにする手立て、コミュニケーションに関する支援例などを紹介しています。	
11		「交流及び共同学習」の授業づくり	障害のある子供にとっても障害のない子供にとっても充実した授業を目指してみませんか？「交流及び共同学習」を充実させるための具体的な手立てや、子供にとっての有益な学びにするための考え方などを紹介しています。	
12		急な予定の変更に対応することが苦手な子供の理解と支援	急な予定の変更に対応することが 苦手な子供はいませんか？学校生活を安心して過ごすための“見通し”のこと、“見通し”への配慮の例などを紹介しています。	
13		障害のある子供へのキャリア教育	すべての子供が生涯にわたって自分らしく生きていくためにどうしたらよいかを一緒に考えてみませんか？「キャリア教育」が目指すものや障害のある子供への「キャリア教育」などを紹介しています。	
14		キャリア・パスポートの作成と活用	一人一人の子供の「自分らしい生き方」を目指し、キャリア・パスポートを活用してみませんか？キャリア・パスポートが果たす役割やキャリア・パスポートを有効に活用するために必要なことなどを紹介しています。	
15		見えにくさのある子供の理解と支援	見えにくさのある子供はいませんか？見えにくいというのはどういうことなのか、その他にどんな見えにくさや困難があるかの説明や色覚異常がある場合などを紹介しています。	
16		子どもの話す「ことば」が気になる先生へ	子どもの話す「ことば」が気になることはないですか？発音が気になる子どもへの配慮やことばがスムーズに出にくい子どもへの配慮、話している「ことば」が気になる子どもと出会った時に行動に移すことなどについて紹介しています。	
17		よく忘れ物をしてしまう子供の理解と支援	クラスの中によく忘れ物をしてしまう子はいませんか？背景として考えられる要因とその解決策の例を紹介しています。どうしたら忘れ物を減らすことができるかについて、子供と一緒に考える際のヒントにしてみませんか。	

18		「自立活動」をプラスして、子供のできた！わかった！を増やしていこう	「自立活動」は特別支援学校学習指導要領において設けられている指導領域です。日々の教育活動に「自立活動」の考え方をプラスすることで、子供のできた！わかった！を増やし、一人一人の自己実現につなげていくためのヒントを具体的な例を挙げて紹介しています。	
19		板書を書き写すことが苦手な子供の理解と支援	一見すると同じ「板書を書き写すことが苦手な子供」であっても、背景となる要因には様々なものがあり、一人一人子供が違えば背景の要因も違ってきます。子供の気持ちに寄り添いながら、困難さの軽減につながる取り組みについて一緒に考えてみませんか。	
20		知的障害のある児童生徒の学びを支える各教科について	知的障害のある児童生徒の各教科について、教科の目標・内容が「段階」で示されていることや、「段階の目標」に関する留意点について具体的に説明しています。また、「文部科学省著作教科書 知的障害者用 ☆本」の紹介もしています。	
21		知的障害のある児童生徒の学びを支える学習評価について	観点別学習状況の評価とは、各教科の評価に際して、学校における児童生徒の学習状況を、複数の観点からそれぞれの観点ごとに分析する評価のことです。知的障害のある児童生徒のための各教科の観点別学習状況の評価について、学習指導要領等の記載内容に触れながら、わかりやすく説明しています。	
22		知的障害特別支援学級における教育課程編成と授業づくり	知的障害特別支援学級における教育課程や実際の指導上の工夫についてや、授業づくりをサポートするツールとして特総研が作成している「すけっと」について紹介しています。	
23		ダウン症のある子供の理解と支援～より深く知って、日々の実践に活かしてみよう！～	ダウン症に関する基礎知識や特性に応じた支援の考え方など、ダウン症のある子供の理解と支援の考え方について具体的な例を挙げて解説しています。また、ダウン症のある子供の生涯発達を見据えた支援の在り方、そのために大切にしたいことについても紹介しています。	
24		困難さのある高校生の進路指導の充実を目指して～自己理解に焦点を当てて～	困難さのある高校生の進路指導を充実させるため、障害特性を踏まえた「自己理解」とおし、生徒が自分の力を発揮しやすくなる環境やそのために必要な配慮について、具体的に示しています。また、指導・支援を行う上で大切にしたい5つのポイントについても紹介しています。	
25		人工内耳をつけた幼児児童生徒への支援	「人工内耳＝聞こえる幼児児童生徒と同じ」ではないということについて、人工内耳の仕組みについても触れながら、わかりやすく図解で示しています。また、関わる上での留意点や配慮の具体例などについても解説しています。	
26		「できること」「やりたいこと」を支える支援機器の活用ーアクセシビリティとアシスティブテクノロジーー	児童生徒が情報機器や支援機器を活用する際に重要である「アクセシビリティ」や「アシスティブテクノロジー」の考え方について、分かりやすく説明しています。また、機器や情報へ近づきやすい環境を整えることで、一人一人の「できること」や「やりたいこと」を増やしていくためのヒントも紹介しています。	
27		デフリンピックから学ぶ きこえない・きこえにくい人が安心して楽しめるスポーツの工夫	きこえない・きこえにくいアスリートのための国際的なスポーツ大会である「デフリンピック」について、わかりやすく説明しています。また、様々な機器や情報へ近づきやすい環境を整えることで、きこえない・きこえにくい子供だけではなく、多くの子供が学校や地域での活動に安心して楽しく参加できるためのヒントを紹介しています。	

28		不登校の予防と支援～発達障害等のある児童生徒も含めて～	不登校を予防できる学校になるための大切な視点や、不登校への支援において重要な3つのポイントについて具体的に説明しています。また、発達障害等のある児童生徒への不登校支援において、特に重要となる学習環境を意識した「未然防止」と、一人一人の特性に応じた「初期対応」の視点についても詳しく解説しています。	
29		特別支援学級で活用できる知的障害のある児童生徒のための文部科学省著作教科書を活用した授業実践に向けて（小学校段階）	知的障害特別支援学級において、知的障害のある児童生徒のための特別の教育課程を編成して指導を行う場合に使用することができる文部科学省著作教科書（「星本」）及び教科書解説を活用した授業づくりについて具体的に紹介しています。本号は「小学校編」となります。	
30		特別支援学級で活用できる知的障害のある児童生徒のための文部科学省著作教科書を活用した授業実践に向けて（中学校段階）	知的障害特別支援学級において、知的障害のある児童生徒のための特別の教育課程を編成して指導を行う場合に使用することができる文部科学省著作教科書（「星本」）及び教科書解説を活用した授業づくりについて具体的に紹介しています。本号は「中学校編」となります。	
31		肢体不自由のある子供の理解と支援	肢体不自由のある子供の中には、姿勢や運動・動作だけでなく、感覚や認知、経験の不足などが学習や生活に影響している場合があります。通常の学級における支援を中心に、姿勢を支える工夫や教材・教具の工夫、ICT機器の活用など、子供一人一人の特性に応じた理解と支援について紹介しています。	
32		入院している子供の理解と支援～一人一人の学びをつなぐために大切にしたいこと～	入院している子供たちの多くは、「学びたい」「友達とつながりたい」という思いを抱えながら過ごしています。入院中の子供たちが感じている不安や戸惑いに寄り添いながら学びをつないでいくための工夫や、学校・家庭・医療機関等と連携した支援について紹介しています。	
33		音読に困難さがある子供が気になる先生へ	音読につまずきがある子供の背景には、文字の見え方や読みの困難さ、注意の持続、興味・関心など、さまざまな要因が関係していることがあります。音読に苦手意識を抱えている子供の気持ちに寄り添いながら、通常の学級でできる配慮や教材の工夫、通級指導教室や特別支援学校等との連携等について紹介しています。	
34		子供のつまずきの背景を「体の動き」や「感覚」という視点から考えてみよう	子供の行動や学習のつまずきの背景には、「体の動き」や「感覚」の特性が関係している場合があります。姿勢を保つことの難しさや感覚の感じ方の違いなどに着目しながら、子供の様子を多面的に理解する視点や、合理的配慮を含めた支援の工夫について紹介しています。	
35		インクルーシブな保育実践を一緒に考えてみませんか	「インクルーシブな保育」について、分かりやすく説明しています。また、「インクルーシブな保育」を実現するための視点や、具体的な保育場面を例に挙げ、保育を見直すポイントについても解説しています。	



A3サイズ 見開き4ページの構成	
1ページ	表紙
2ページ上部	要旨とポイント
2ページ下部 ～3ページ	この号で取り扱うテーマについて、まず知ってほしいことや気づいてほしいことについての説明
4ページ	より深く理解するために役立つ情報

**2～3ページは、10分程度で読むことができます。**  
このページだけでも是非お読み下さい。